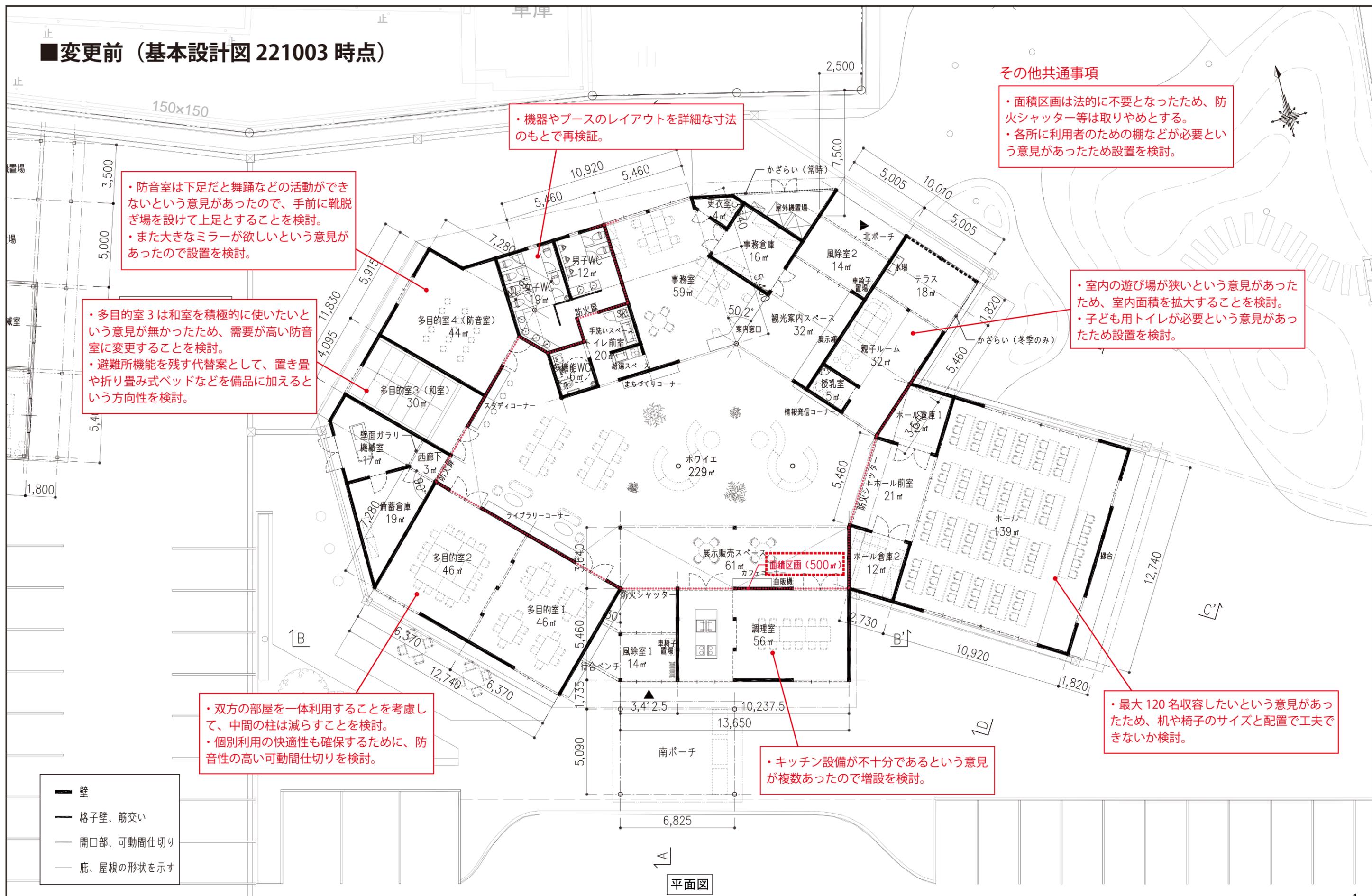


# 資料編

# ■変更前（基本設計図 221003 時点）



**その他共通事項**

- ・面積区画は法的に不要となったため、防火シャッター等は取りやめとする。
- ・各所に利用者のための棚などが必要という意見があったため設置を検討。

・室内の遊び場が狭いという意見があったため、室内面積を拡大することを検討。

・子ども用トイレが必要という意見があったため設置を検討。

・キッチン設備が不十分であるという意見が複数あったので増設を検討。

・最大 120 名収容したいという意見があったため、机や椅子のサイズと配置で工夫できないか検討。

・双方の部屋を一体利用することを考慮して、中間の柱は減らすことを検討。

・個別利用の快適性も確保するために、防音性の高い可動間仕切りを検討。

・防音室は下足だと舞踊などの活動ができないという意見があったので、手前に靴脱ぎ場を設けて上足とすることを検討。

・また大きなミラーが欲しいという意見があったので設置を検討。

・多目的室 3 は和室を積極的に使いたいという意見が無かったため、需要が高い防音室に変更することを検討。

・避難所機能を残す代替案として、置き畳や折り畳み式ベッドなどを備品に加えるという方向性を検討。

・機器やブースのレイアウトを詳細な寸法のもとで再検証。

- 壁
- 格子壁、筋交い
- 開口部、可動間仕切り
- 庇、屋根の形状を示す

平面図

<b>特記事項</b> ・面積区画上の建具は特定防火設備とする	株式会社 鈴木建築設計事務所 山形市相生町7-55 TEL023(623)1778 山形県知事登録 第190号 管理建築士・一級建築士登録第185747号 安達 勝美	設計年月日 令和5年 3月	検図	その他の設計者 一級建築士登録第360497号 伊東 優	作図 伊東 優	工事名称 川西まちなかテラス整備工事	管理番号 2021-022
			図面名称 平面図	縮尺 1:100 (A1) 1:200 (A3)	図面番号 13		

# ■変更後（実施設計図 230621時点）



- ・モックアップにより寸法を検証し、ブースの配置や扉の開閉方法を変更。
- ・詳細検討により、女子 WC の洗面器数は 4→3 として、個数よりも快適性を重視する（設置基準による算定個数はクリア）
- ・ジェットタオルを設置

## その他共通事項

- ・外部の各所に水場を設置する（別図参照）
- ・ホワイエにウォータークーラーを設置する。
- ・各所に棚などの家具を設置する。
- ・防災備蓄品などの増加により、付属棟の大きさを 116㎡→138㎡に変更（別図参照）

- ・靴脱ぎ場（段差無し）を設けて上足利用とする。
- ・壁面に大きなミラーを設置する。
- ・避難時などに横になれる場所を確保するために、軽量の置き畳を棚に備え付ける。

- ・和室から下足の防音室に変更。
- ・隣室との間仕切り壁と建具を防音仕様とするほか、発生音量に応じて防音カーテンも併用（多目的室 4 も同様）

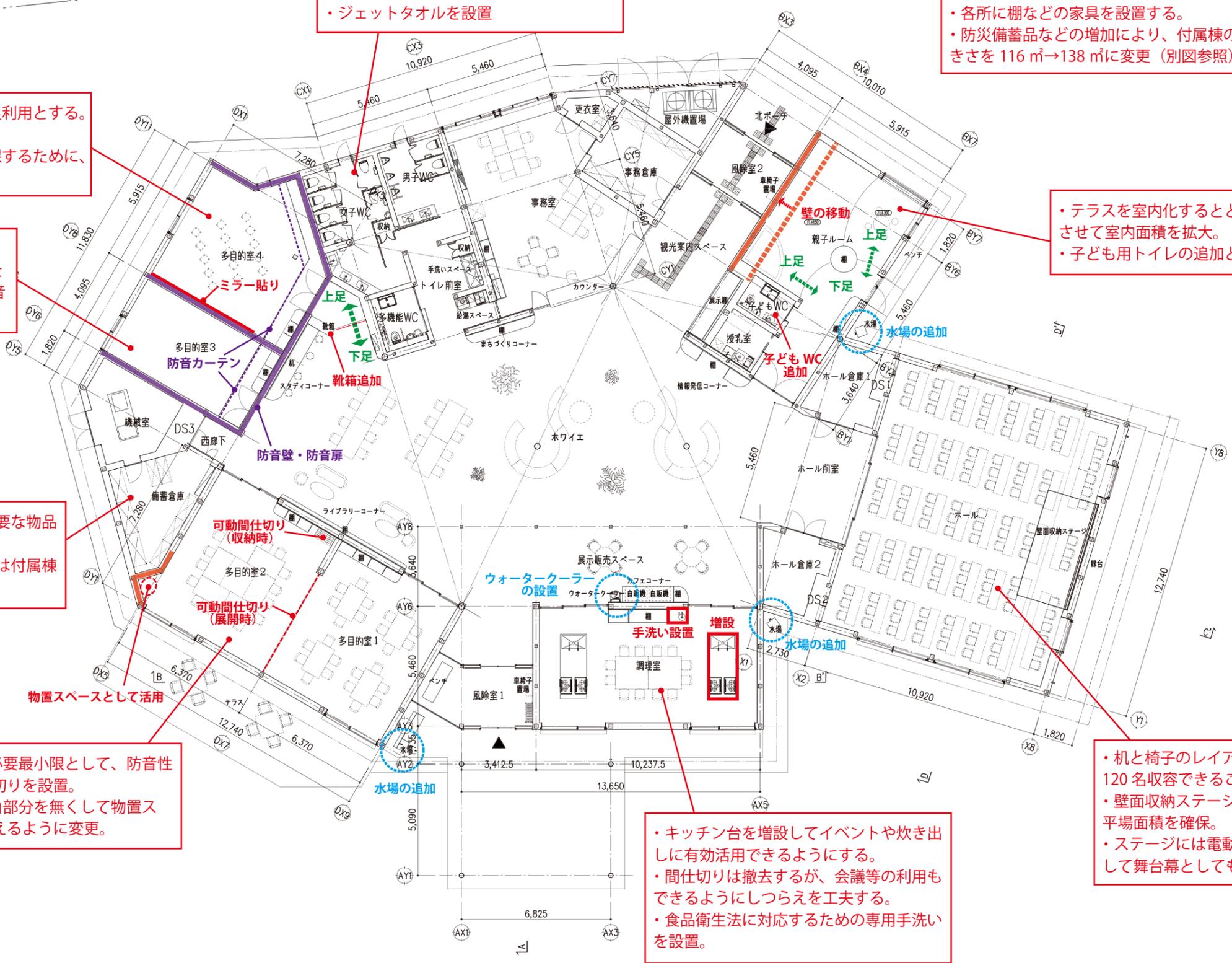
- ・テラスを室内化するとともに、壁を移動させて室内面積を拡大。
- ・子ども用トイレの追加と授乳室の拡大。

- ・備蓄品の種類や数を整理し、必要な物品を保管できることを確認。
- ・一部緊急性が低いものについては付属棟の倉庫も活用する。

- ・2室間の柱は必要最小限として、防音性の高い可動間仕切りを設置。
- ・備蓄倉庫の鋭角部分を無くして物置スペースとして使えるように変更。

- ・キッチン台を増設してイベントや炊き出しに有効活用できるようにする。
- ・間仕切りは撤去するが、会議等の利用もできるようにしつらえを工夫する。
- ・食品衛生法に対応するための専用手洗いを設置。

- ・机と椅子のレイアウトを工夫することで 120 名収容できることを確認。
- ・壁面収納ステージとすることで収納時の平場面積を確保。
- ・ステージには電動ロールクリーンを設置して舞台幕としても使えるようにする。



平面図

特記事項	株式会社 鈴木建築設計事務所 山形市相生町7-5 TEL023(623)1778代 一級建築士事務所 山形県知事登録 第190号 管理建築士：一級建築士登録第185747号 安達 勝美	設計年月日 令和5年 3月	検図	その他の設計者 1級建築士登録第360497号 伊東 健	作図	工事名称 川西まちなかテラス整備工事	管理番号 2021-022
	図面名称 平面図	縮尺 1:100 (A1) 1:200 (A3)	図面番号 14				

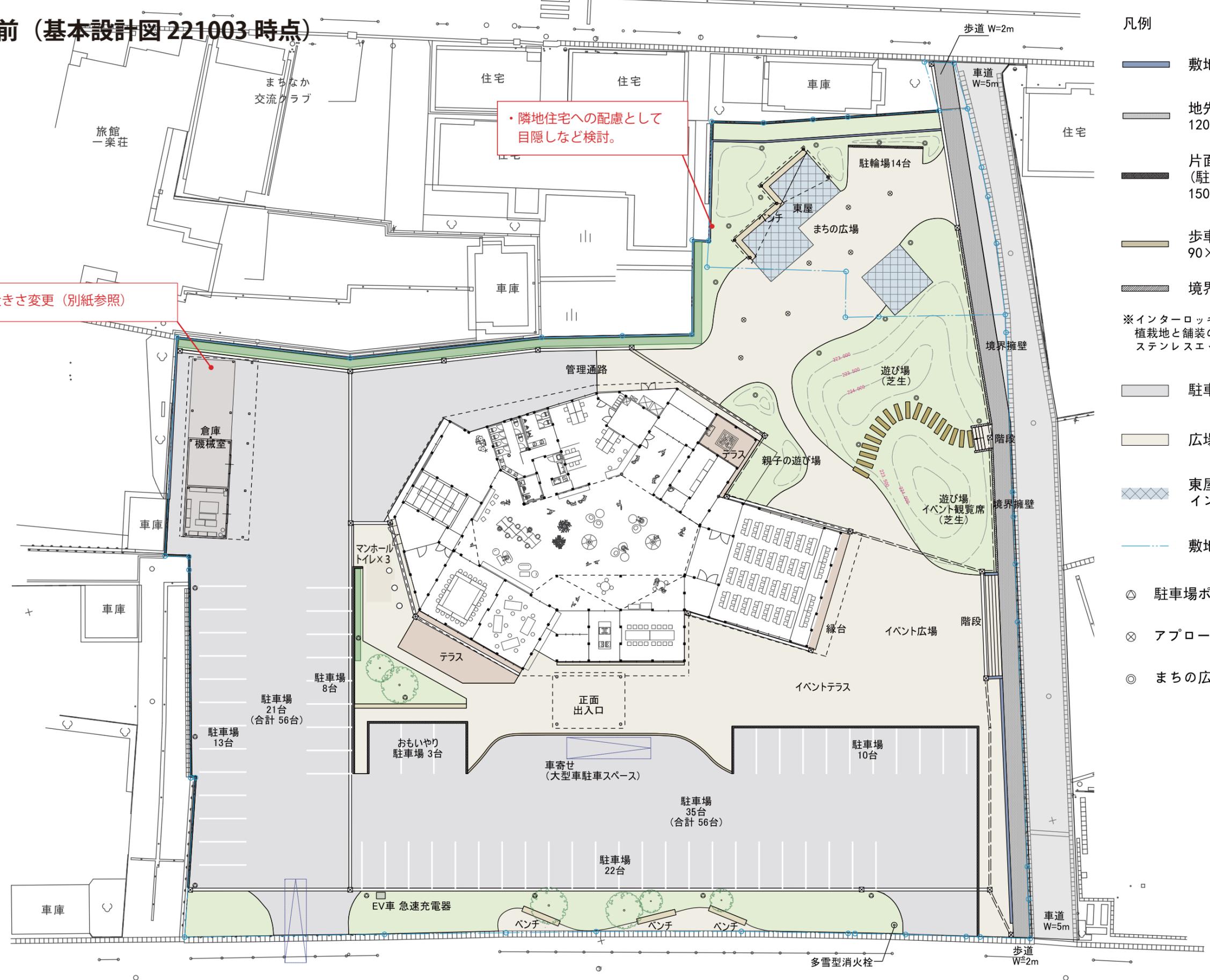
■変更前 (基本設計図 221003 時点)

・付属棟の大きさ変更 (別紙参照)

・隣地住宅への配慮として  
目隠しなど検討。

凡例

- 敷地境界擁壁 (土留め)
- 地先境界ブロック 120×120×600
- 片面歩車道境界ブロック (駐輪スペース輪止め) 150×200×600
- 歩車道境界 御影ピンコロ石 90×90×90 目地10, 2列
- 境界擁壁+安全策
- ※インターロッキング舗装部分および、植栽地と舗装の境界に側溝の入らない部分はステンレスエッジ (H150) を使用
- 駐車場 アスファルト舗装
- 広場 コンクリート洗出し舗装
- 東屋・遊び場 インターロッキング舗装
- 敷地境界線
- ⊙ 駐車場ポール灯 11箇所
- ⊗ アプローチ埋込灯 7箇所
- ◎ まちの広場 ガーデン灯 (H500) 14箇所



# ■変更後（実施設計図 230621時点）

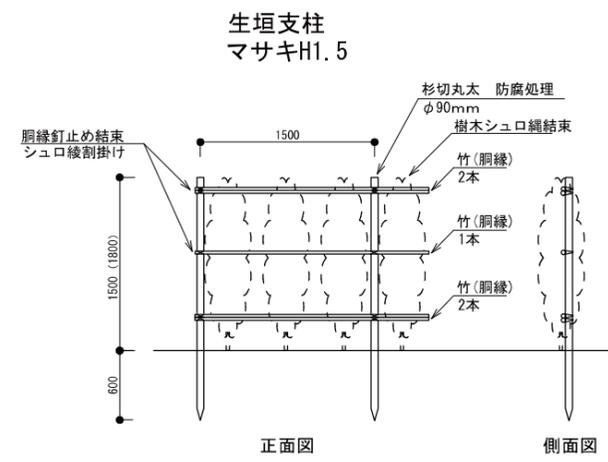
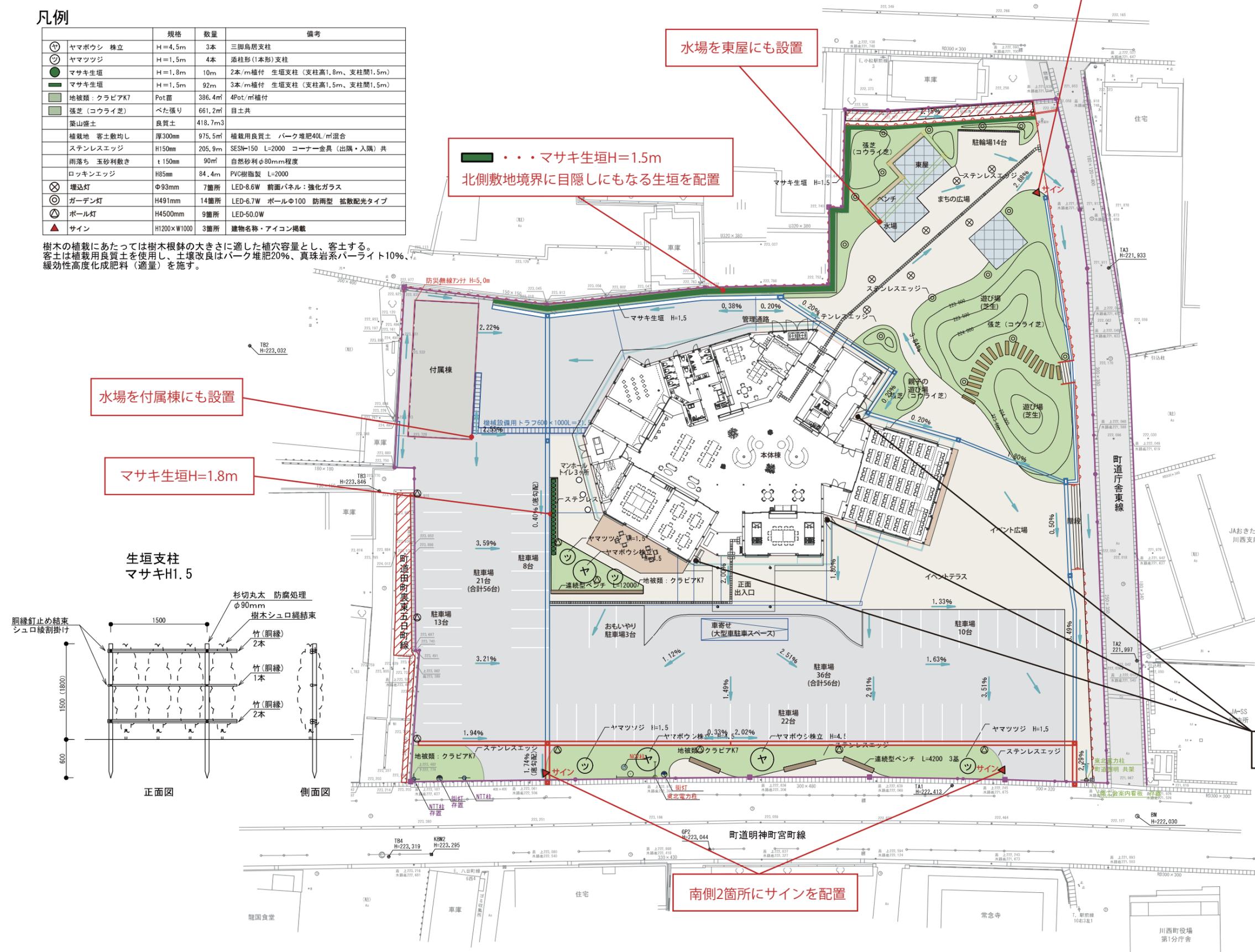
## 凡例

記号	規格	数量	備考
⊙	ヤマボウシ 株立	H=4.5m 3本	三脚鳥居支柱
⊙	ヤマツツジ	H=1.5m 4本	添柱形(1本形)支柱
⊙	マサキ生垣	H=1.8m 10m	2本/m植付 生垣支柱(支柱高1.8m、支柱間1.5m)
⊙	マサキ生垣	H=1.5m 92m	3本/m植付 生垣支柱(支柱高1.5m、支柱間1.5m)
■	地被類：クラピアK7	Pot苗 386.4㎡	4Pot/m植付
■	張芝(コウライ芝)	べた張り 661.2㎡	目土共
■	築山盛土	良質土 418.7m <sup>3</sup>	
■	植栽地 客土敷均し	厚300mm 975.5㎡	植栽用良質土 パーク堆肥40L/m <sup>2</sup> 混合
■	ステンレスエッジ	H150mm 205.9m	SESN-150 L=2000 コーナー金具(出隅・入隅)共
■	雨落ち 玉砂利敷き	t 150mm 90㎡	自然砂利φ80mm程度
■	ロッキンエッジ	H85mm 84.4m	PVC樹脂製 L=2000
⊗	埋込灯	φ93mm 7箇所	LED-8.6W 前面パネル：強化ガラス
⊗	ガーデン灯	H491mm 14箇所	LED-6.7W ボールφ100 防雨型 拡散配光タイプ
⊗	ポール灯	H4500mm 9箇所	LED-50.0W
▲	サイン	H1200×W1000 3箇所	建物名称・アイコン掲載

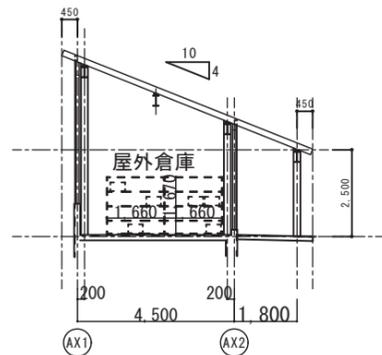
樹木の植栽にあたっては樹木根鉢の大きさに適した植穴容量とし、客土する。客土は植栽用良質土を使用し、土壌改良はパーク堆肥20%、真珠岩系パーライト10%、緩効性高度化成肥料(適量)を施す。

## 変更後凡例

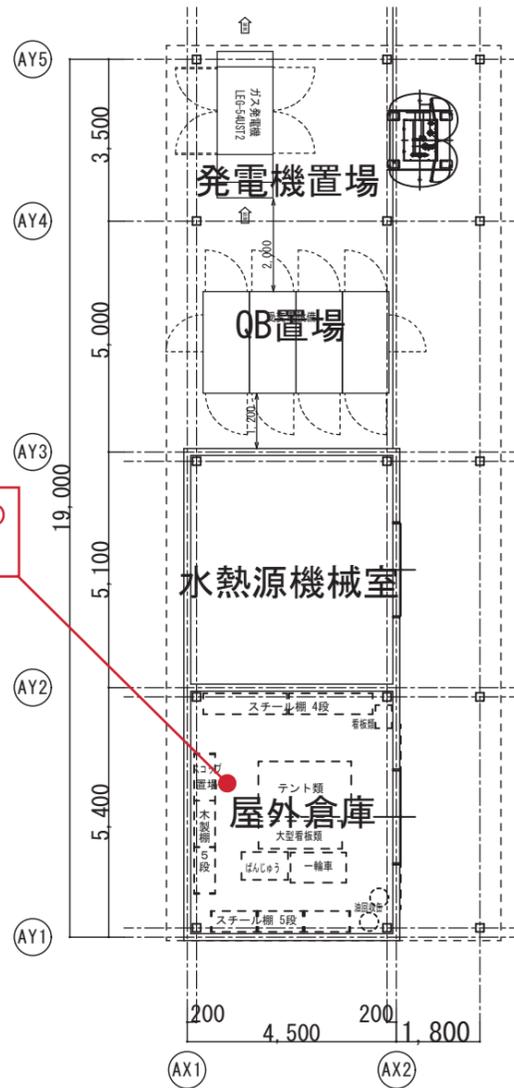
- 敷地境界擁壁(土留め)
- 地先境界ブロック 120×120×600
- 片面歩車道境界ブロック(駐輪スペース輪止め) 150×200×600
- 境界擁壁+安全柵(町道庁舎東線)
- 点字ブロック
- ※インターロッキング舗装部分および、植栽地と舗装の境界に側溝の入らない部分はステンレスエッジ(H150)を使用
- 駐車場 アスファルト舗装
- 広場 コンクリート洗出し舗装
- 東屋・遊び場 インターロッキング舗装
- 敷地境界線
- 駐車場ポール灯 9箇所
- アプローチ埋込灯 7箇所
- まちの広場 ガーデン灯(H500) 14箇所
- サイン 3箇所



■変更前（基本設計図221003時点）



AY2 通り断面図 S1:200



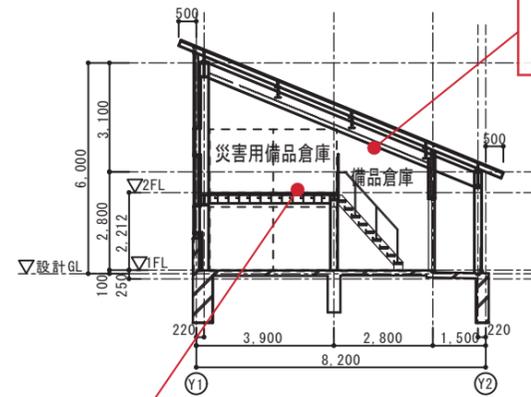
油回収缶は間仕切で他の備品と分けることを検討

防災備蓄品の増加により、本体棟から防災備品の収納場所を移動することを検討。

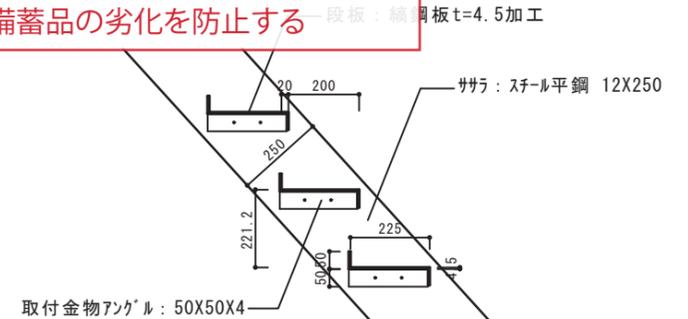
平面図 S1:150

延床面積：116.24㎡

■変更後（実施設計図230621時点）



倉庫部分を断熱することにより、備蓄品の劣化を防止する



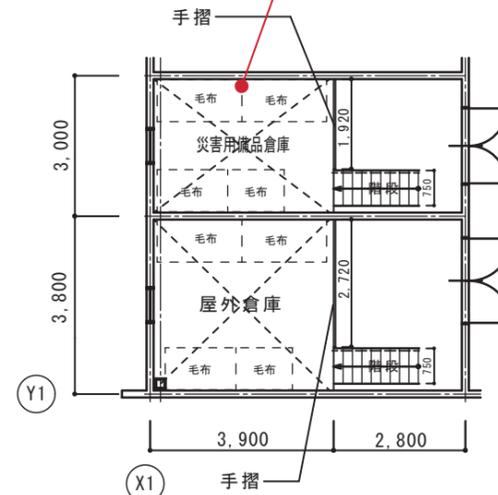
取付金物アングル: 50X50X4

階段詳細図 S1:10

勾配屋根の空間を有効活用し、一部2階建てとする。

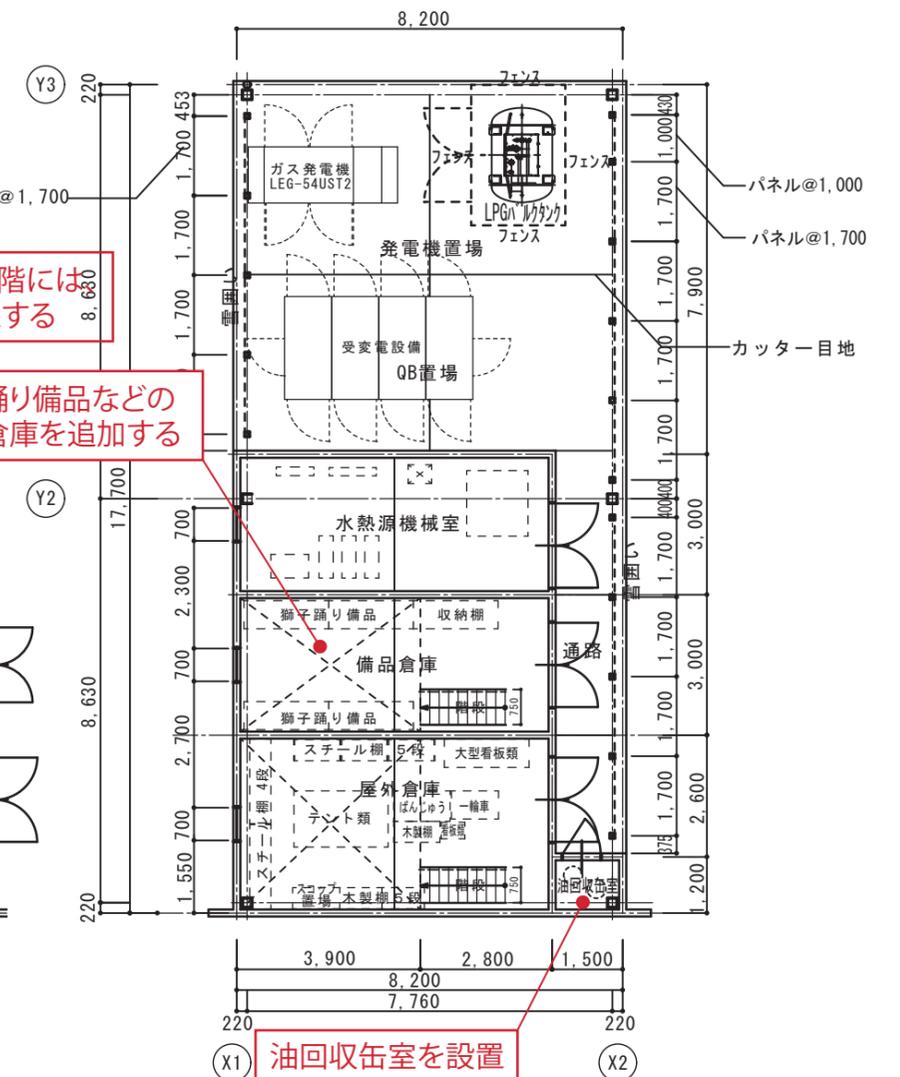
利用頻度を考慮し二階には災害備蓄収納を確保する

獅子踊り備品などの備品倉庫を追加する



2階平面図 S1:150

床面積：26.520㎡



油回収缶室を設置

1階平面図 S1:150

床面積：138.1928㎡  
延床面積：164.7128㎡